

普及活動情勢報告（平成28年11月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

キュウリの収量・品質向上のために・・・キュウリ現地検討会・・・	
	11月9日、黒潮町大方と土佐清水市でキュウリ現地検討会を開催し、生産者、関係機関合わせて20名が参加しました。農業改良普及課からは、病虫害発生状況や対応策、品種比較試験の途中経過について報告をしました。 参加者からは、今後の病虫害への対応策や温度管理方法についての質問が出され、生産者同士の情報や意見交換の場となり、生産に対する意欲向上に繋がりました。 農業改良普及課は、今後も定期的に現地検討会を開催し、増収に向けた情報の発信を行っていきます。

集落営農法人の活動促進・・・幡多地域集落営農法人連絡協議会の開催・・・	
	10月29日、中村合同庁舎で、管内8法人の代表と関係機関合わせて26名が参加して、幡多地域の集落営農法人連絡協議会を開催しました。 高田専門技術員から飼料米等の安定生産、農業改良普及課からは露地野菜の生産振興、法人簿記の留意点、各種支援策、集落活動センターとの連携について情報提供を行いました。 管内4法人の決算資料を共有したことで、法人間の経営の比較や分析に活用できることが理解され、「消費税の取り扱いは？」など、活発な意見交換が行われました。 農業改良普及課は、今後も定期的に協議会を開催し、法人間連携の強化に繋がっていきます。

産地の担い手を育てよう・・・農業基礎講座の開催・・・	
	10月26日、四万十農園めぐりっこで幡多地域の研修生を対象に第3回農業基礎講座を開催し、9名の参加がありました。農業改良普及課は病虫害対策、農薬の安全使用について講義をし、その後は管内の青年農業士・4Hクラブの代表者との意見交換会と懇親会を行いました。 参加者からは、バンカー植物の利用方法など多くの質問がありました。意見交換会では、ベテラン農業者から農業経営に対する考え方や就農への心構えについてのアドバイスがあり、研修生の就農に対する意欲を高めることができました。 農業改良普及課では、今後も農業研修生への技術知識習得支援を行っていきます。

「干しぶどう」を売り出せ・・・6次産業化支援チーム商談会の開催・・・



11月10日、新ロイヤルホテル四万十で、幡多地域の製造業者や生産者、飲食店、宿泊業者等を対象にした「発掘・発見商談会」が開催されました。6次産業化支援チームからは宿毛市の平岡ぶどう園が農業改良普及課とともに参加し販路拡大に向けて、商品のPRを行いました。

来場者から、「質は良い。取引について今後相談をしたい。」「栽培している場所や食材の特徴について知りたい。」「干しぶどうだけではなく、生ぶどうも興味がある」。などの声がありました。

農業改良普及課では、今後もアドバイザーと連携し、組織の活性化や商品開発、販売拡大に向けて支援を行います。

加工品の県内流通を目指して・・・農家レストランしゃえんじり支援チーム会・・・



11月8日、農業振興センターにおいて、6次産業化推進事業を活用し、商品開発や加工品の販売に取り組む農家レストランしゃえんじりの支援チーム会を開催しました。チーム会では、テスト販売や賞味期限の設定方法等について話し合いを行いました。

アドバイザーからは、テスト販売へ向けての準備物、また今後の取引に向けては工業技術センターでの検査結果（食味、生菌、真菌、大腸菌）が必要となる等のアドバイスがありました。

農業改良普及課では、今後もアドバイザーと連携し、販路拡大に向けて支援を行います。

シシトウ栽培で地域を元気に・・・（農）三原やまびこ設立総会・・・



11月16日、三原村下長谷集会所において、組合員、関係者37名が出席して、幡多管内で10番目の集落営農法人となる「（農）三原やまびこ」の設立総会が開催されました。農業改良普及課は、定款や経営計画の作成を支援し、組合員17名で、高知県園芸用ハウス整備事業を活用して、雨除けシシトウ（19a）を栽培する計画です。岩井組合長からは、「地域の皆さんが高齢になっても元気で仕事をして、収入が得られる取り組みを進めたい」というあいさつがあり、三原村集落活動センターと連携・協力した取り組みを進めていくこととなりました。

農業改良普及課は、今後法人の運営安定に向けて支援していきます。

冬場の増収に向けて・・・JA 高知はた佐賀支所ニラ部会勉強会・・・



11月11日、JA高知はた佐賀支所にてニラ生産者15名が参加して施設ニラの冬場の増収技術について勉強会を開催しました。

農業改良普及課は注目されている電照栽培について現地での利用方法や、導入にかかる経費の説明を行いました。

導入を検討している生産者と既に導入している生産者で活発な質疑が行われ、技術について理解を深めることができました。

農業改良普及課では、今後も増収と高品質化に向けて、新たな技術導入を支援していきます。

ユズの青果率向上を目指して・・・JA高知はた三原支所栽培講習会・・・



11月18日、三原村農業構造改善センターで定例講習会を開催し、生産者20名が参加しました。

農業改良普及課は、翌月の栽培管理のポイントを指導するとともに、特に重要となる収穫終了後の樹勢回復対策の徹底を図りました。

参加者から、葉面散布による樹勢回復対策に対して多くの質問があり、青果率向上に向けた意欲を高めることが出来ました。

農業改良普及課は、今後剪定講習会を開催し、収量、品質の向上に繋げていきます。